

## 自己評価総括書

令和 5 年 8 月 4 日  
尾道市立高西中学校

### 1 ミッション

「中学校区で取り組む『志プロジェクト』」の推進

### 2 ビジョン

高い志とふるさとに誇りを持ち「知りたい・学びたい・挑戦したい」があふれる学校

- 笑顔・感動・夢のある生徒（生徒）
- 安全で、安心して任せられる学校（学校）
- ふるさと学習、キャリア教育を推進する学校（地域）
- 教職員がやりがいを持って活動している学校（教職員）

### 3 重点課題における成果（○）と課題（●）

#### ①主体的な学びの実現

○キャリア・ログ「学びの地図」による個人の目標設定と、その実現に向けて日々の活動や行事等と関連付けながら「なりたい自分」へと近づけるよう取り組んだ。また、キャリア講演会の計画的な実施や尾道で活躍する方の話を聞く機会を通して、社会に開かれた教育の実現と郷土愛の醸成に繋げることができた。

●「全国学力・学習状況調査」結果から、3年生は全国平均並みであるが、「学力定着実態調査」結果から、1・2年生は、基礎・基本的な学力が十分に定着していない実態がある。

#### ②お互いの個性を認め合える集団の実現

○アセスの結果から、教師と生徒との間に良好な関係を築くことができていること、また、「友人サポート」においても高い数値を示しており、安心・安全な居場所づくりに向けた風土を醸成できていると考えられる。

●アセスや学級力アンケートの結果からも、学習への不適応感等、課題を抱える生徒が一定数いる。

#### ③教育の質を高める働き方改革の実現

○「試験期間中の採点時間確保」「夏季休業期間中の校内研修日縮減」「水、金曜日の早期退校の促進」等、積極的に業務改善を図った。

その結果、「新たな取組を行う場合、スクラップ&ビルドを行っている」と回答している教職員の割合（昨年度 48%）が 85%に向上した。また、1学期保護者アンケートにおいて、「高西中学校に通わせてよかったと思う」と 92.8%の保護者が回答している。

### 4 今後の取組の方向、改善策等

①明確な評価規準や評価方法を決め、生徒が学びを実感できるようにする。また、生徒が必然的に学習にのめり込むような問いや、学び取るための素材を準備する。

②自分たちで創る学級や行事などの自治的風土の充実については、2学期も行事をしっかりと仕組み、生徒に委ねることができるよう取組を進める。

③学校経営会議や衛生懇話会を通じて、教職員からのアイデアを吸い上げ、その実働化に努める。また、教育の質を高める「働き方改革」のR P D C Aをまわし、学校体制で推進する。

